

日本鉄鋼協会記事

第7回理事会 日時：11月5日（火）場所：協会々議室。出席者：角野会長、志村副会長、伊藤、佐藤、西郷各理事、西村監事、松下、山岡、田中各前会長、入、作井、辻畑、松本、横山吉田各常務委員、橋本事務局長。

報告事項：Ⅰ. 編集委員会の件。Ⅱ. 企画委員会の件。Ⅲ. 秋季大会に関する件。Ⅳ. 材料試験連合講演会の件。Ⅴ. ヘイス氏講演会の件。Ⅵ. 大河内記念会賞受賞候補者の件。Ⅶ. 印度金属学会年次総会の件。

協議事項：Ⅰ. 石原研究資金に関する件—石原記念資金取扱規程を決定。Ⅱ. 役員候補者並びに受賞候補者推薦依頼の件—11月半ば頃依頼状発送のこと。後者については本年より役員以外の維持会員にも推薦依頼のこと。Ⅲ. 33年度文部省科学研究費等審議会委員候補者推薦の件—委員候補者として芥川武君推薦のこと。金属関係連絡懇談会には本会代表委員に橋口隆吉君、作井誠太君を委嘱のこと。Ⅳ. 原子力平和利用国際会議提出論文の件—会誌の会告をもつて会員に通知のこと。Ⅴ. 10月中入退会その他会員異動の件—承認。Ⅵ. 10月中収支決算の件—承認。

第8回編集委員会 日時：10月29日（火）場所：本会々議室。出席者：佐藤理事外12名。

報告事項：Ⅰ. 10月号の完成および発送、11月号の完成予定の件、臨時編集委員会の件。Ⅱ. Tetsu-to-Hagané Abstracts No.5の件—原稿印刷所へ手交、完成予定12月10日。

協議事項：Ⅰ. 33年1月号原稿選定の件—選定済み、なお1月号掲載予定の鉄鋼技術共同研究会調査部会報告並びに鉄鋼技術の展望（昭和32年を顧みて）もそれぞれ執筆依頼のこと。Ⅱ. 臨時編集委員会における現地側要望の件—(イ) Synopsis および図表英文の件は現状のまゝとし、和文添付のない Synopsis は受理しないこと。(ロ) 他学協会誌と分野協定の件は不可能、(ハ) U.D.C. の採用は、“鉄と鋼”は制約された範囲にあるため当分見送ること、(ニ) 講演大要は現状通り普通号とし、別冊としない。(ホ) 講演前刷原稿締切の延長は事務処理上現状のまゝとする。(ヘ) 抄録委員外の抄録寄稿は現状のまゝで受け付け改めて会告として募集しない。(ト) 原稿用紙支部配布は適当な方法により配布する。(チ) 講演大会を5年に1回程度鋳物協会と同時開催の件は企画委員会に審議依頼のこと。Ⅲ. ルーマニア冶金研究所と会誌交換の件—交換のこと。Ⅳ. 原稿依頼の件—54回講演大会講演中より下記番号のものを本論文として寄稿を、（下記番号省略）および技術資料“最近における永久磁石”の執筆を依頼のこと。

第9回編集委員会 日時：11月26日（火）場所：協会々議室。出席者：松下委員外11名。

報告事項：Ⅰ. 11月号完成発送および12月号完成予定の件。

協議事項：Ⅰ. 33年2月号原稿選定の件—選定済み。Ⅱ. 他学協会と共催による講演論文取扱内規に関する件—松下委員原案作成の上次回再審議のこと。Ⅲ. 寄稿論文取扱いに関する件—上野委員の案について審議、なお次回にて審議の上決定のこと。Ⅳ. Tetsu-to-Hagané Abstracts 内容改善の件—(イ) 生産輸出入統計、(ロ) Industria Review, Technical Review (ハ) 協会歴史等を加え、また各 Abstract に図面1を挿入する等の意見があつたが更に次回において審議のこと。Ⅴ. 寄稿論文を技術資料として書き替え方依頼の件—松下委員に一任。Ⅵ. 論説部門別分類表改正の件—堀川委員に原案作成依頼。

第7回鉄鋼標準試料委員会 日時：11月22日（金）場所：協会会議室。出席者：西郷委員長外11名。

議事：Ⅰ. 在庫品僅少につきその補充のため製造すべき試料について—在庫品僅少の下記試料は次の各社に製造を依頼すること。八幡製鉄—第1号、第4号、第5号炭素鋼、第19号フェロバナジウム・富士製鉄—第6号鼠銑鉄、第7号白銑鉄、住友金属工業—第8号クロム鋼、日立金属工業—第9号高速度鋼、日本特殊鋼—第11号タンゲステン鋼、日本鋼管—第13号フェロマンガ、第14号フェロシリコン、第15号フェロクロム、Ⅱ. 現在の22種のほか、新たに追加製造を要する試料について—Cr-Mo-鋼、18-8 ステンレス鋼等の製造が希望されたが、実際の需要を調査検討の上次回において審議のこと。

—お 知 ら せ—

巻末添付の“鉄と鋼 第43年（昭和32年）索引”は合本される方の御便宜のため容易に取外しが出来るように糊付してありますので念のためお知らせします。